


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和6年2月7日

山北町議会議長 石田 照子 殿

受付番号	第4号	質問議員	6番	大野徹也 
件名	能登半島地震による被災を教訓として防災・減災対策を			
要 旨				
<p>本年1月、最大震度7を記録した能登半島地震は、同じ活断層直下型の阪神・淡路大震災の約9倍の規模に相当し、石川県に甚大な被害をもたらした。</p> <p>本町においても、関東大震災やその翌年に余震として発生した丹沢地震は甚大な被害をもたらしたが、山北町地域防災計画において、今後本町が大きな被害を受けると予想されている「東海地震」「南海トラフ巨大地震」「都心南部直下地震」「神奈川県西部地震」「大正型関東地震」の発生に対応するためには、能登半島地震による被災を教訓とした防災・減災対策による備えが必要と考え質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 大規模地震で道路が寸断され、孤立化が想定される地域の状況の検証を踏まえ、どのような対策を講ずるのか。</li><li>2. 開設された大規模避難所で、多数の避難者の出入りを正確・迅速に把握するため、どのような対策を講ずるのか。また、災害弱者となる高齢者や障がい者など「避難行動要支援者」の個別避難計画に基づく避難所への避難訓練を実施する考えは。</li><li>3. 大震災で多くの家屋倒壊が発生することを踏まえ、本町の耐震改修促進計画の推進による耐震化目標の進捗状況は。</li><li>4. 基幹管路や水道設備の耐震化の遅れは、断水による飲料水不足と衛生的生活環境の悪化の原因となることを踏まえ、本町の基幹管路や水道設備の耐震化に対する取り組みは。</li></ol>				
以上				